

2022 年卒業生調査の報告

調査対象：大学 IR コンソーシアムの調査希望 18 大学の学部卒業生
卒業年月：2007(平成 19)年 3 月, 2012(平成 24)年 3 月, 2017(平成 29)年 3 月
調査方法：Web アンケート
調査期間：2022 年 7 月～2023 年 3 月 31 日
有効回答数：4,124 件 内 芝浦工業大学 365 件（配布数 3,342：回収率 10.9%）

【卒業生調査 2022年の要点】

・本学卒業生調査の結果を全大学と理系大学（理学・工学・農学・その他理系（教養学部
の理系群等）との比較から報告します。

1. 基本情報

・本学の回答者は卒業後 5 年(2017 年卒)(34%)、卒業後 10 年(2012 年卒)(23%)、卒業
後 15 年(2007 年卒)(17%)等。女性の回答者割合 18%。

2. 授業や課外活動等への取り組み

・本学は専門分野に熱心、資格取得、アルバイト、ボランティアは不熱心の傾向。

3. 在学中の能力の変化

・高得点の項目は「専門分野や学科の知識」「コンピュータの操作能力」「分析力や問題
解決能力」「プレゼンテーションの能力」「数理的な能力」。

・低得点の項目は、卒後 5 年の卒業生について改善している。改善の努力は今後も必要。

4. 大学時代の留学経験

・「渡航したことはない」が多い。本学は卒後 5 年の卒業生について留学経験者が増加。

5. 満足度

・教育・研究への満足度は「とても満足」と「満足」で4分の3を占める。大学時代の
生活全般への満足度は「とても満足」と「満足」で8割以上を占める。

6. 大学とのつながり

・「同窓との付き合い」44%が多く、次に「ゼミや研究室の集まり」「クラブ・サークル
の集まり」「恩師との付き合い」等。

7. 初職

・無期雇用（正社員）で就職は 94%。主な業種は、「製造業」38%、「建設業」21%、「情
報通信業」16%。志望する初職に 77%が就く。主な選択理由は、職種、業種、安定性。
本学は、収入と知名度の重要度が高い。

8. 転職・離職

・転職・離職の経験者は 36%。最も多い理由は「ステップアップを因るため」27%。

9. 現職

・90%が無期雇用(正社員)。現職の主な業種は、「製造業」35%、「建設業」18%、「情報
通信業」15%。従業員規模は「5,001 名以上」35%が多い。在籍年数は、「5 年以上 10
年未満」33%と「10 年以上」31%が多い。主な職種は、「技術・研究職」61%、「IT エ

ン지니어職」14%、「事務・企画職」9%。職階は、「一般職(役職なし)」57%と「監督職(係長・主任級)」32%が多い。年収は「400～600万円」39%が多い。全大学や理系大学より、「600～800万円」27%、「800～1000万円」14%の割合が多い。

10. キャリアパスへの満足度

・キャリアパスには6割以上が満足（「とても満足」14%、「満足」49%）。

11. 海外での勤務経験や業務における外国語の使用

・本学の卒業生は外国語で会話や議論をする必要(26%)や、メールや文書のやりとりをする必要(32%)が全大学や理系大学より多い。該当しない卒業生は58%。

12. 大学生時代に身につける能力の重要性

・「分析力や問題解決能力」、「コミュニケーションの能力」、「人間関係を構築する能力」、「他の人と協力して物事を遂行する能力」の重要性が高い。正課や準正課で汎用的技能の学習を考慮する重要性を示唆。

1. 基本情報

(1) 回答者の卒業年

回答者は卒業後5年(2017年卒)が多く、本学38%、全大学34%です。次に、本学は卒業後10年(2012年卒)35%、全大学は「その他」25%が多いです(表1-1)。

(2) 回答者の性別

女性の割合は、本学18%、理系大学25%、全大学47%です(図1-2)。

(3) 芝浦工業大学の学部

学部は、工学部72%、システム理工学部24%、デザイン工学部4%です(表1-3)。

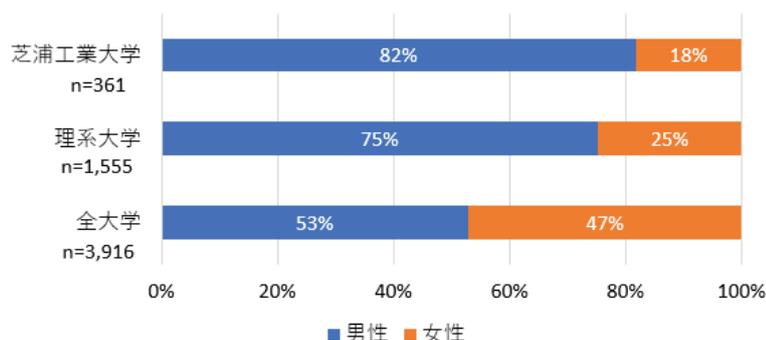
表1-1 大学卒業年(F2)

大学卒業年 (F2)	芝浦工業大学		全大学	
	人数	%	人数	%
5年 (2017卒)	137	37.5	1,403	34.0%
10年 (2012卒)	126	34.5	965	23.4%
15年 (2007卒)	98	26.8	714	17.3%
その他 (上記以外の卒業年、または空欄)	4	1.1	1,042	25.3%
合計	365	100.0%	4,124	100.0%

表1-3 芝浦工業大学の学部

学部	人数	有効パーセント
工学部	263	72.1
システム理工学部	88	24.1
デザイン工学部	14	3.8
合計	365	100.0

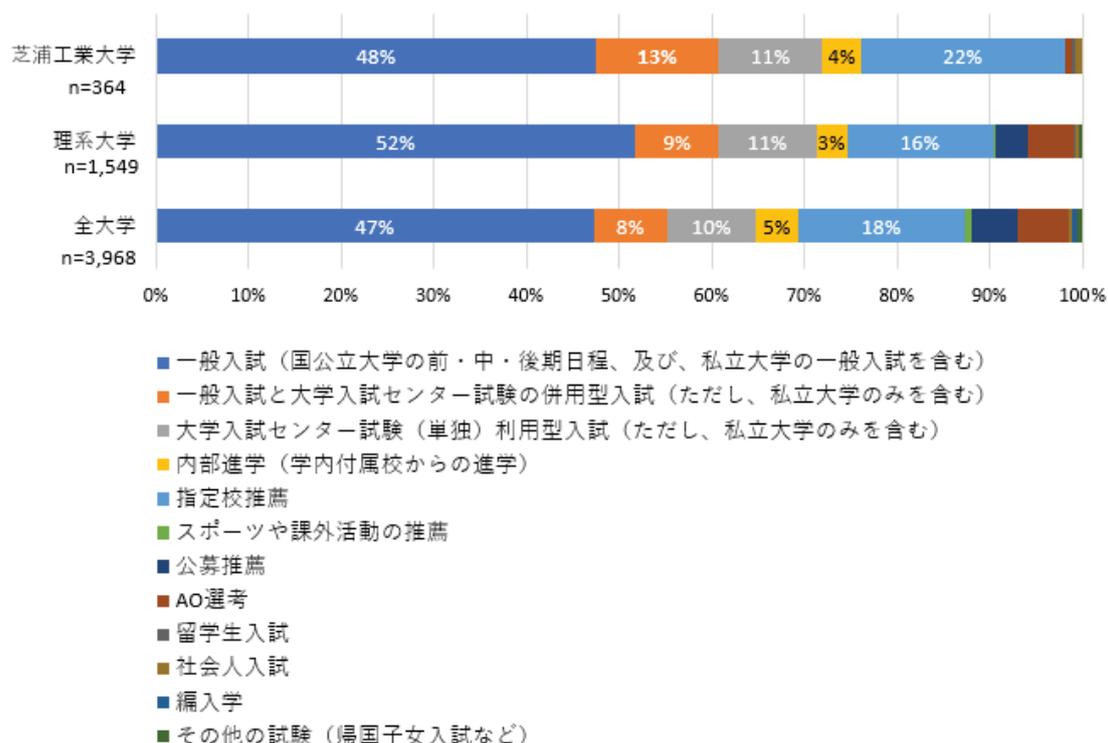
図1-2 性別(F3)



(4) 入学試験の形態

本学は「一般入試」48%が多いです。また、全大学や理系大学より、本学は「一般入試と大学入試センター試験の併用型」13%と「指定校推薦」22%が多いです(図 1-4)。

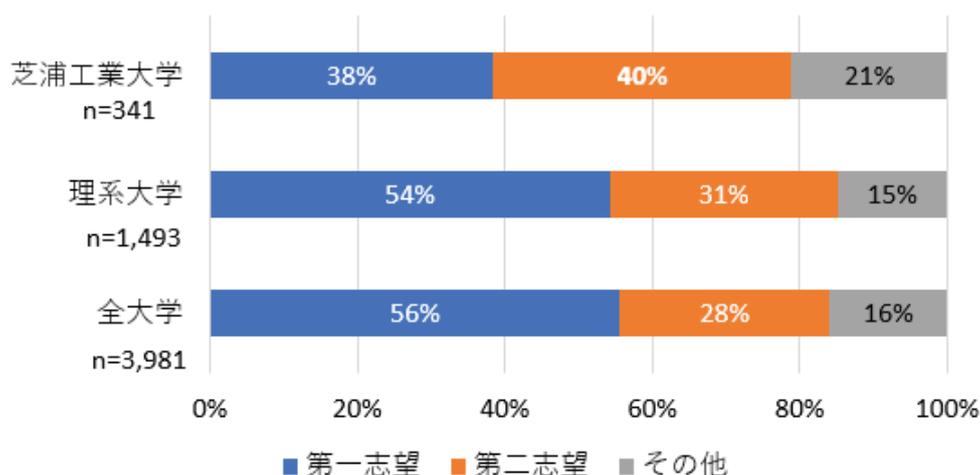
図 1-4 入学試験の形態 (Q1)



(5) 志望順位

本学は第一志望が少なく(38%)、第二志望(40%)が多いです(図 1-5)。

図 1-5 志望順位(Q2)



(6) 高校卒業時と現在の居住地

本学の高校卒業時と現在の居住地は関東が4分3以上を占めます(図1-6)。

図1-6-1 高校卒業時の居住地(F4A)

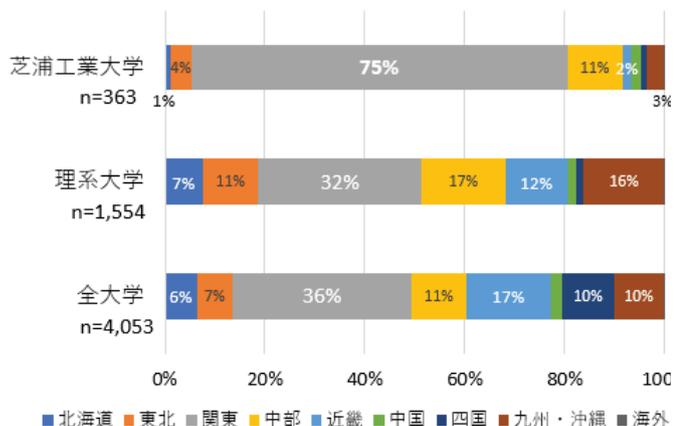
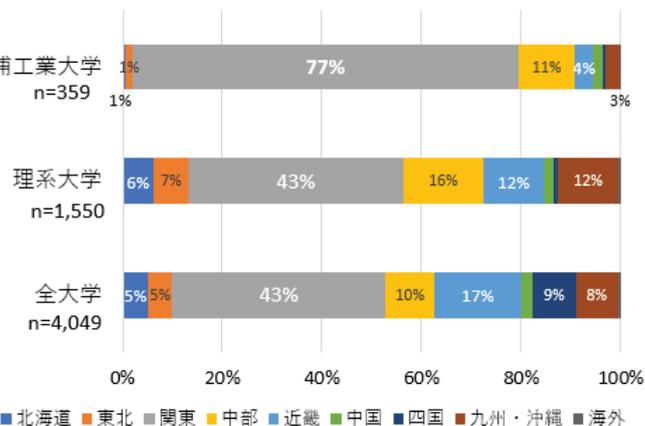


図1-6-2 現在の居住地(F4B)



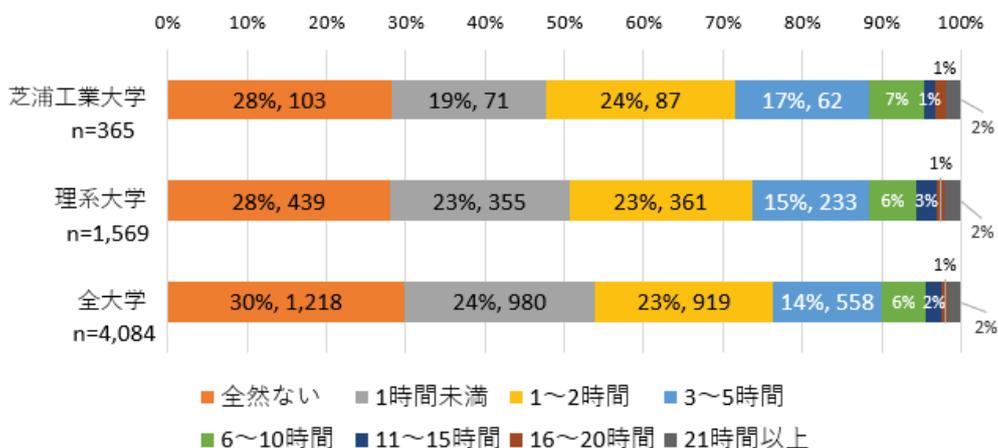
(7) 勤務時間外の学習時間 (一週間あたり)

本学、理系大学、全大学のいずれも最頻値は「全然ない」です。本学は3~5時間の割合が、全大学や理系大学より若干多いです(17%) (表1-7、図1-7)。

表1-7 勤務時間外の学習時間(F5)

	芝浦工業大学		理系大学		全大学	
	人数	%	人数	%	人数	%
F5. 勤務時間外の学習時間 (一週間あたり)						
全然ない	103	28%	439	28%	1,218	30%
1時間未満	71	19%	355	23%	980	24%
1~2時間	87	24%	361	23%	919	23%
3~5時間	62	17%	233	15%	558	14%
6~10時間	25	7%	92	6%	229	6%
11~15時間	5	1%	41	3%	82	2%
16~20時間	5	1%	16	1%	31	1%
21時間以上	7	2%	32	2%	67	2%
総合計	365	100%	1,569	100.0%	4,084	100.0%

図1-7 勤務時間外の学習時間(F5)



2. 授業や課外活動等への取り組み

在学時の授業や課外活動等への取り組み10項目についての熱心さ(図2-1～図2-10)。

(要点) 本学は専門に熱心、資格取得、アルバイト、ボランティアには不熱心の傾向

図2-1 全学教育(一般教育科目): ほぼ同じ、全大学は「熱心」が若干多いです(60%)

図2-2 外国語科目: 本学と理系大学に比べ全大学は「熱心」が多いです

図2-3 専門科目(実験除く): 本学は「熱心」38%が多いです

図2-4 専門科目(実験): 本学「熱心」39%、理系大学「熱心」38%が多いです

図2-5 ゼミや実習: 熱心さはほぼ同じです

図2-6 卒業論文・卒業研究: 「熱心」49%が多いです

図2-7 部・サークル活動: ほぼ同様、全大学が「熱心」が若干多いです(51%)

図2-8 資格の取得: 「不熱心」10%、「やや不熱心」23%が多いです

図2-9 アルバイト: 「不熱心」7%、「やや不熱心」13%が多いです

図2-10 ボランティア: 「不熱心」11%、「やや不熱心」28%が多いです

図2-1 全学教育(一般教育科目)(Q3A)

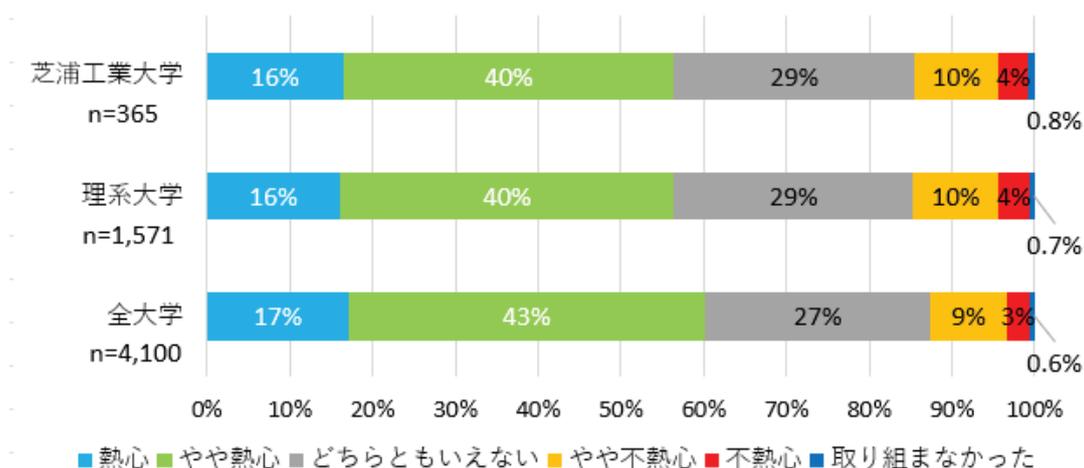


図2-2 外国語科目(Q3B)

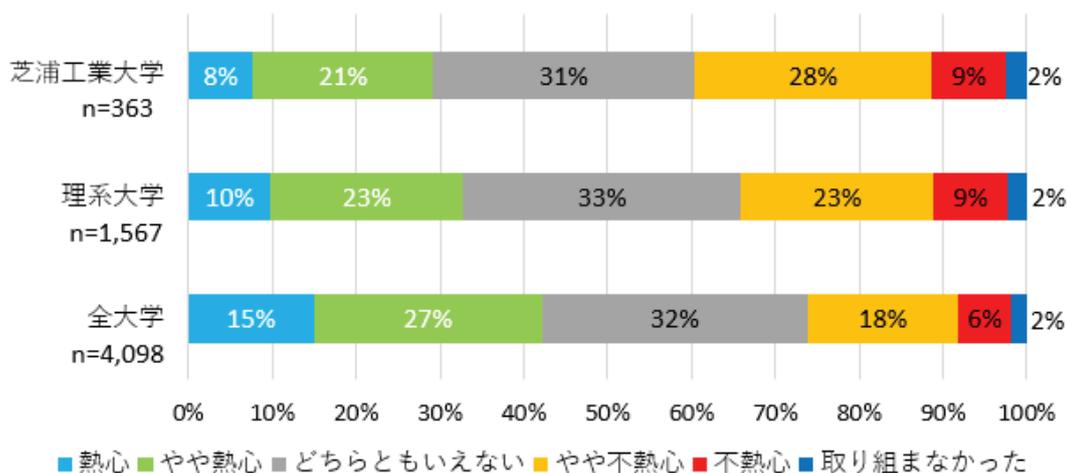


図 2 - 3 専門科目（実験除く）(Q3C)

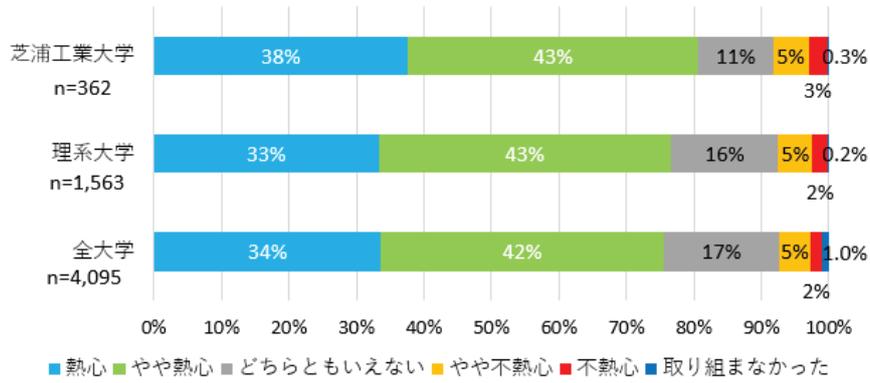


図 2 - 4 専門科目（実験）(Q3D)

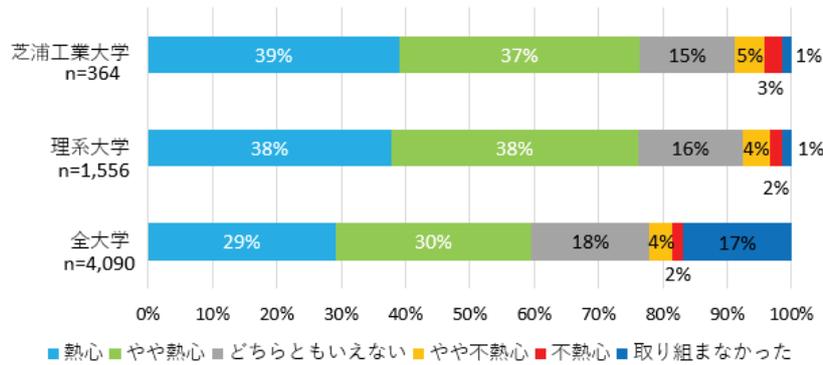


図 2 - 5 ゼミや実習(Q3E)

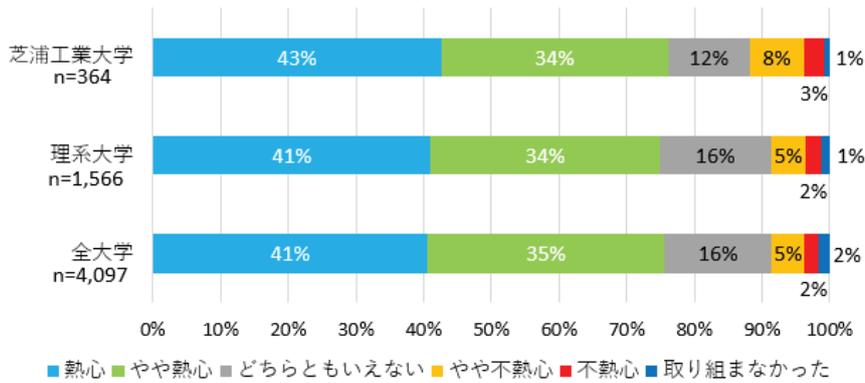


図 2 - 6 卒業論文・卒業研究(Q3F)

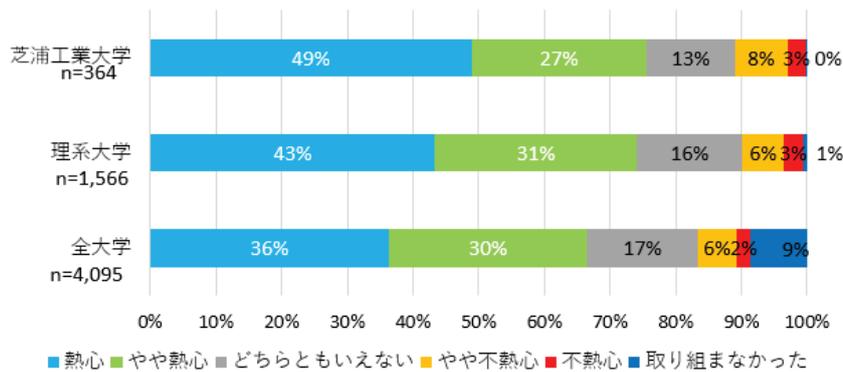


図 2 - 7 部・サークル活動(Q3G)

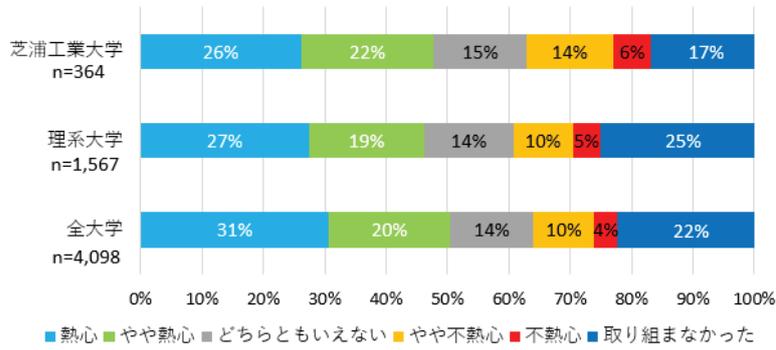


図 2 - 8 資格の取得(Q3H)

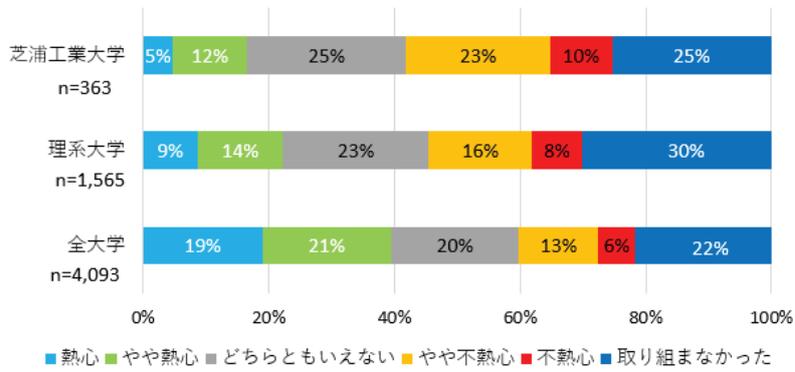


図 2 - 9 アルバイト(Q3I)

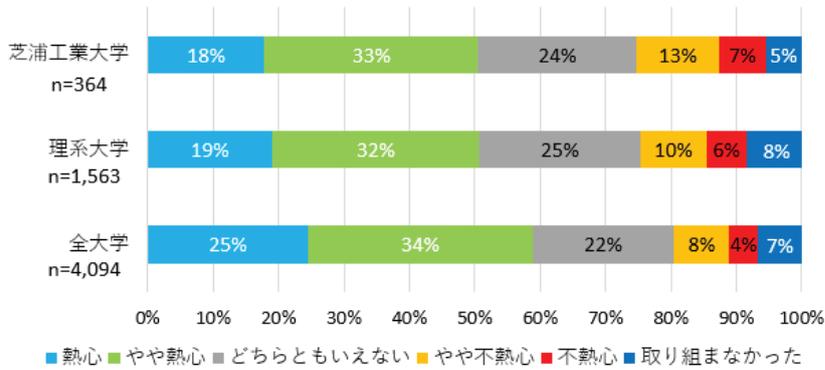
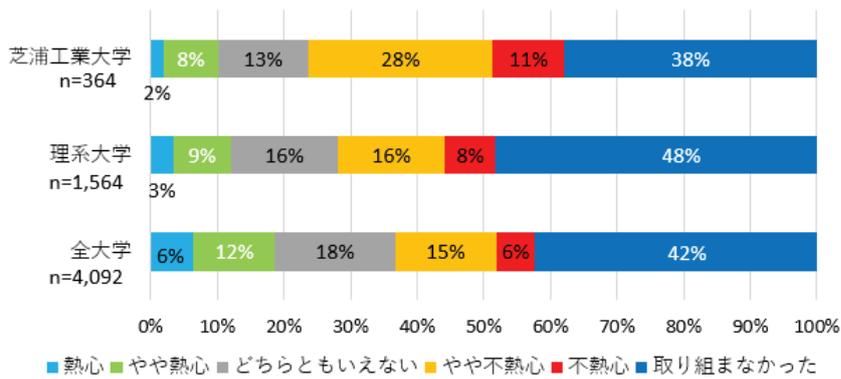


図 2 - 10 ボランティア(Q3J)



3. 在学中の能力の変化

能力 20 項目について、選択肢は、「大きく増えた」「増えた」「変化なし」「減った」「大きく減った」の 5 段階です。百点満点に換算して、本学の点数が高い順に並べ替えました（表 3-1, 図 3-1）。

1. 点数が高い項目（C,Q,B,O,P）

「専門分野や学科の知識」「コンピュータの操作能力」「分析力や問題解決能力」
「プレゼンテーションの能力」「数理的な能力」

2. 点数が全大学・理系大学に比べ低い項目（H,A,G,N,L）

「他の人と協力して物事を遂行する能力」「一般的な教養」「人間関係を構築する能力」
「コミュニケーションの能力」「文章表現の能力」

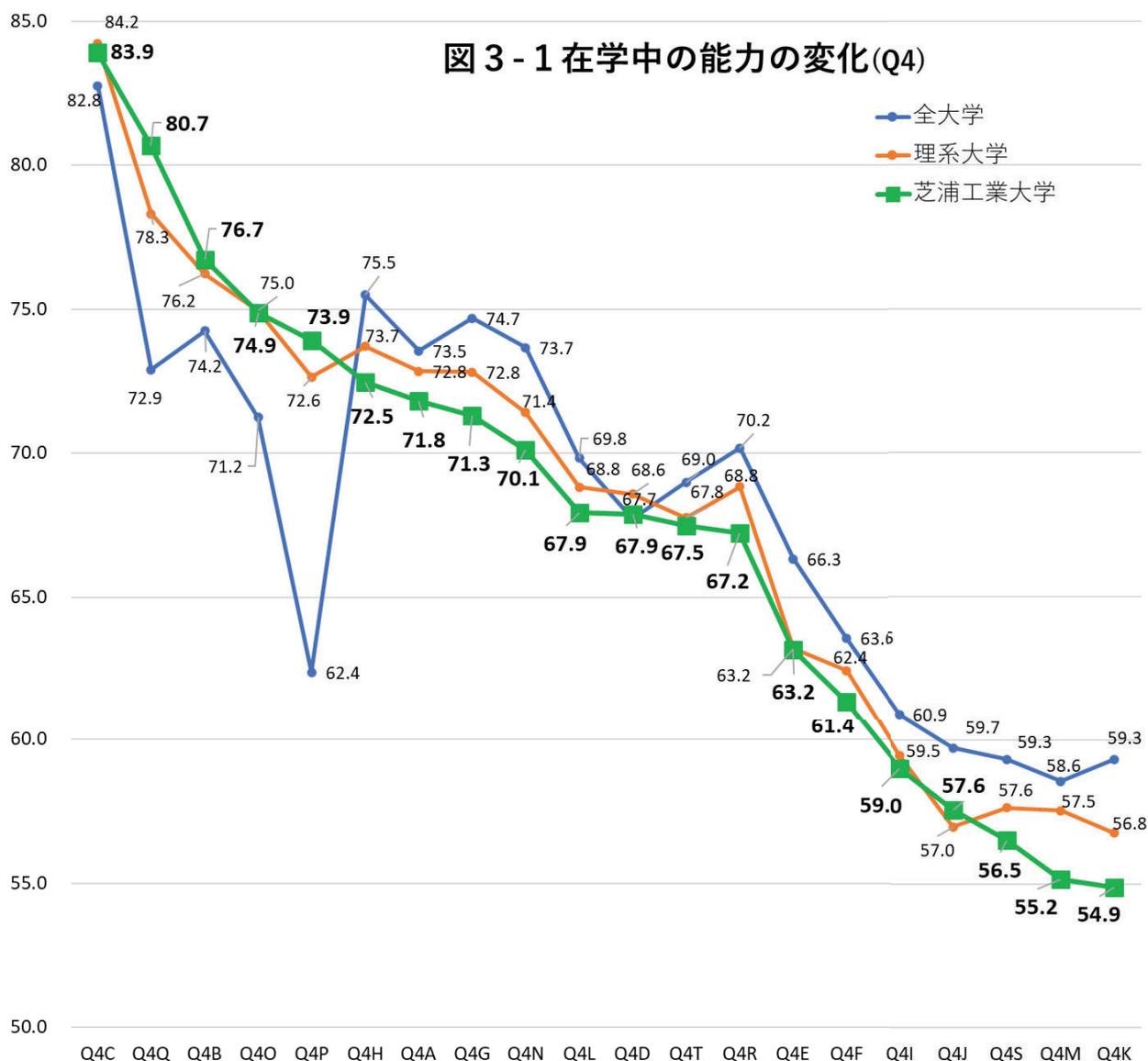
3. 点数が低い項目（E,F,I,J,S,M,K）

「異文化の人々に関する知識」「リーダーシップの能力」
「異文化の人々と協力する能力」「地域が直面する問題を理解する能力」
「グローバルな問題の理解」「外国語の運用能力」
「国民が直面する問題を理解する能力」

表3-1 在学中の能力の変化(Q4)

質問番号	項目名	全大学	理系大学	芝浦工業大学
Q4C	C. 専門分野や学科の知識	82.8	84.2	83.9
Q4Q	Q. コンピュータの操作能力	72.9	78.3	80.7
Q4B	B. 分析力や問題解決能力	74.2	76.2	76.7
Q4O	O. プレゼンテーションの能力	71.2	75.0	74.9
Q4P	P. 数理的な能力	62.4	72.6	73.9
Q4H	H. 他の人と協力して物事を遂行する能力	75.5	73.7	72.5
Q4A	A. 一般的な教養	73.5	72.8	71.8
Q4G	G. 人間関係を構築する能力	74.7	72.8	71.3
Q4N	N. コミュニケーションの能力	73.7	71.4	70.1
Q4L	L. 文章表現の能力	69.8	68.8	67.9
Q4D	D. 批判的に考える能力	67.7	68.6	67.9
Q4T	T. 就職に向けた情報収集能力	69.0	67.8	67.5
Q4R	R. 時間を効果的に利用する能力	70.2	68.8	67.2
Q4E	E. 異文化の人々に関する知識	66.3	63.2	63.2
Q4F	F. リーダーシップの能力	63.6	62.4	61.4
Q4I	I. 異文化の人々と協力する能力	60.9	59.5	59.0
Q4J	J. 地域社会が直面する問題を理解する能力	59.7	57.0	57.6
Q4S	S. グローバルな問題の理解	59.3	57.6	56.5
Q4M	M. 外国語の運用能力	58.6	57.5	55.2
Q4K	K. 国民が直面する問題を理解する能力	59.3	56.8	54.9

*大きく増えた100点、増えた75点、変化なし50点、減った25点、大きく減った0点の平均点
芝浦工業大学の点数で項目を並び替え、グループ内最高点は太字。



・ 点数が低い 3 項目について卒業後 5 年の卒業者の在学中の能力の変化

(図 3-1-1) 「G.人間関係を構築する能力」 増えた割合は若干低い(69%)

(図 3-1-2) 「I.異文化の人々と協力する能力」 増えた割合が多い(46%)

(図 3-1-3) 「M.外国語の運用能力」 増えた割合が多い(38%)

卒業後 5 年の卒業生は、「I.異文化の人々と協力する能力」や「M.外国語の運用能力」は本学の増えた割合が多いです。しかし、「G.人間関係を構築する能力」のように若干評価が低い項目もあります。

図 3 - 1 - 1 人間関係を構築する能力

－ 卒後5年 － (Q4G)

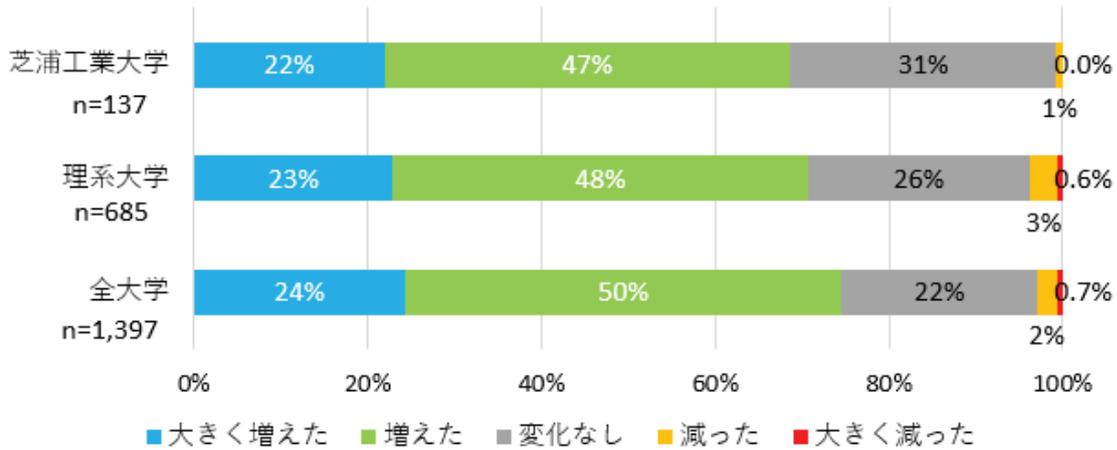


図 3 - 1 - 2 異文化の人々と協力する能力

－ 卒後5年 － (Q4I)

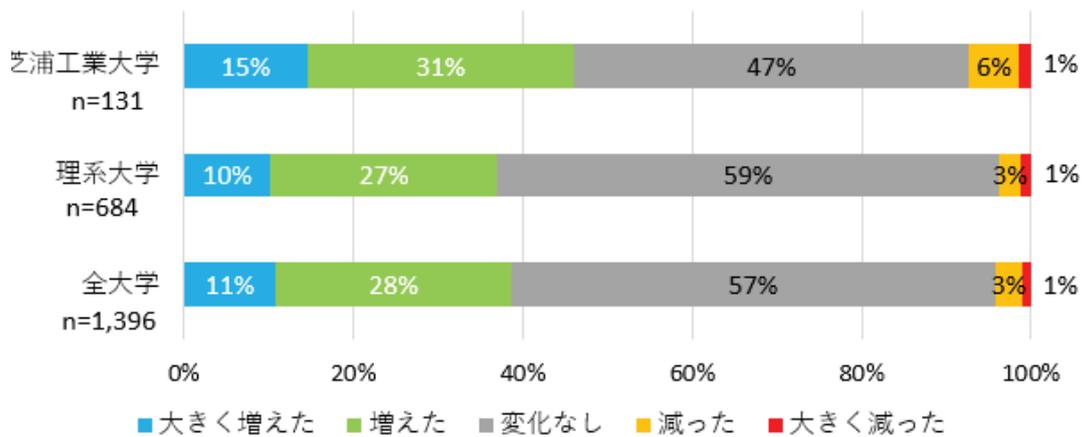
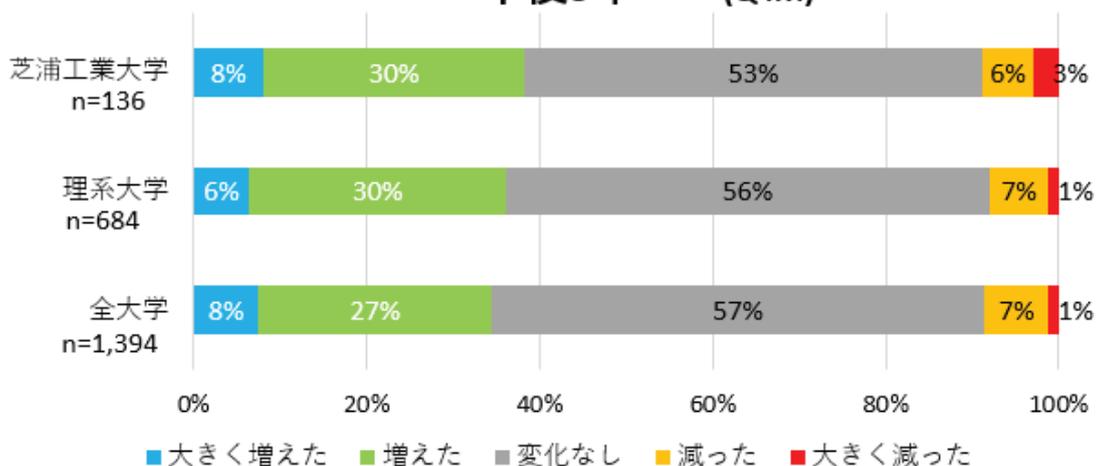


図 3 - 1 - 3 外国語の運用能力

－ 卒後5年 － (Q4M)



4. 大学時代の留学経験

大学時代の留学経験は、いずれも「渡航したことはない」が8割以上です(図4-1)。卒業後5年では、本学の「渡航したことはない」71%は11ポイントの減少です。一方、全大学の「渡航したことはない」82%でほとんど変化がありません(図4-2)。大学時代の留学経験が本学では増えています。

図4-1 大学時代の留学経験(Q5)

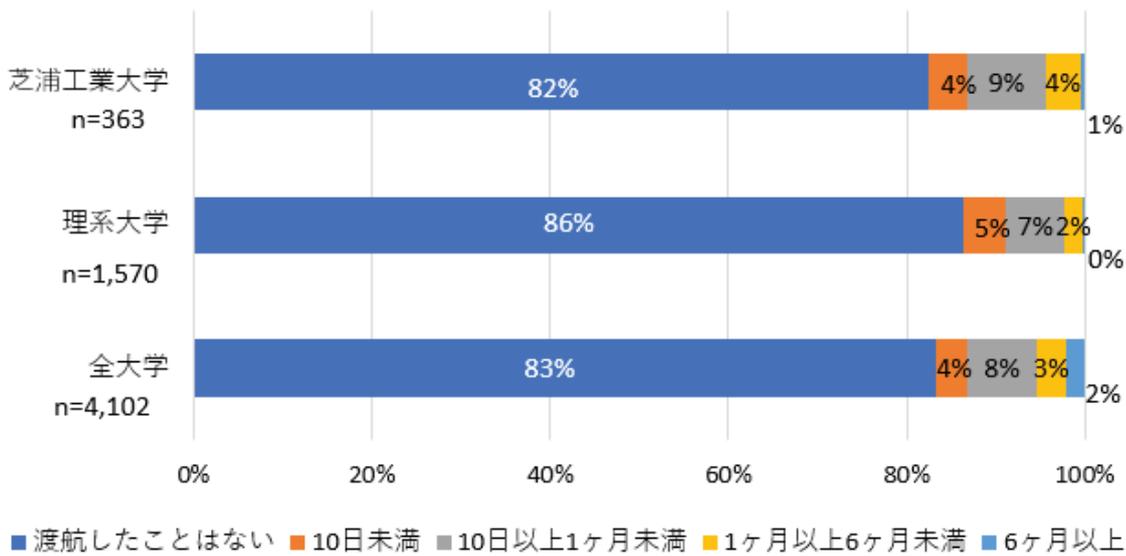
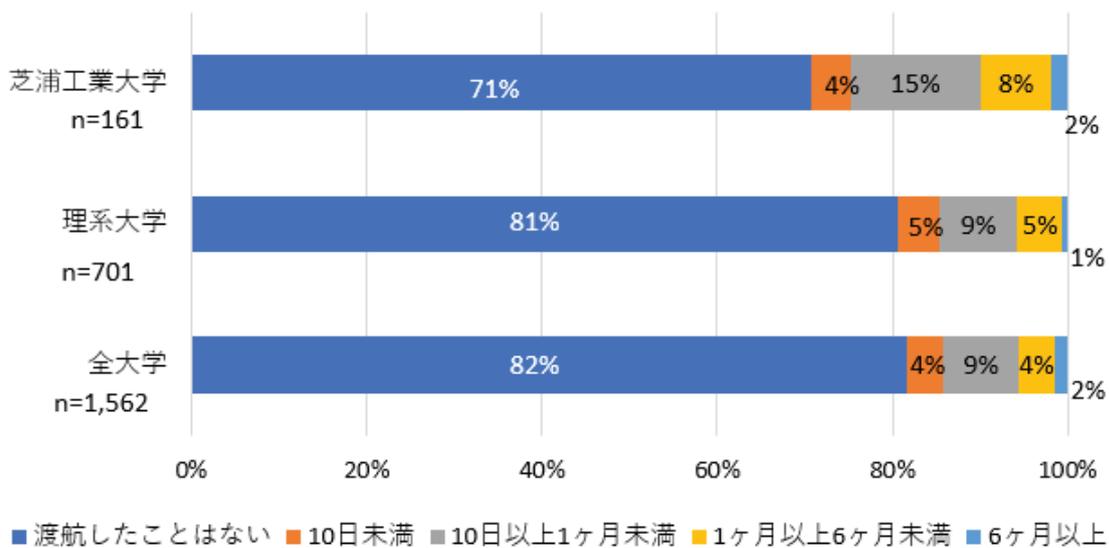


図4-2 大学時代の留学経験－卒業後5年－(Q5)

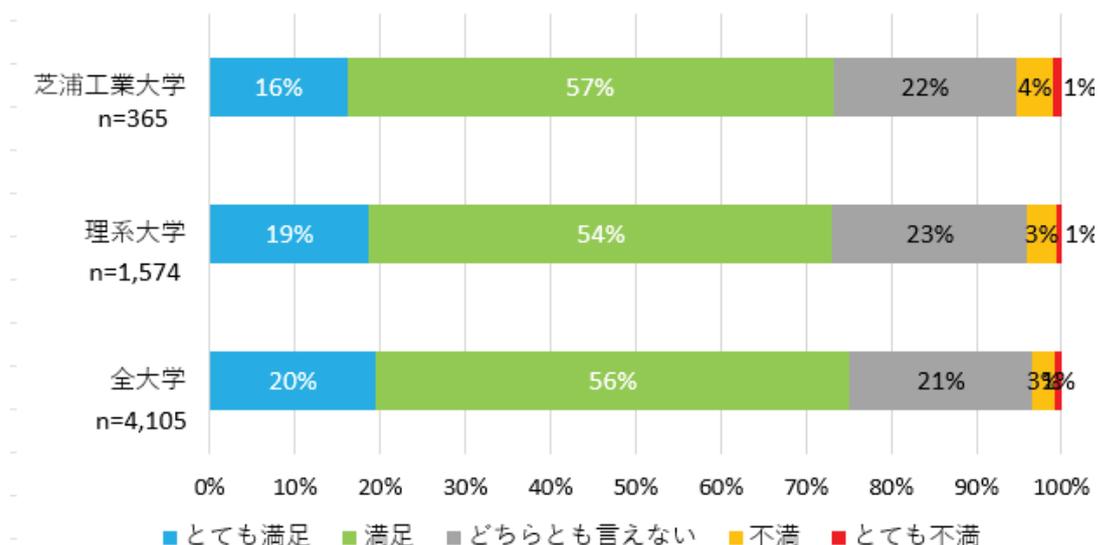


5. 満足度

(1) 教育・研究に対する満足度

教育・研究への満足度は、本学、理系大学、全大学とも「とても満足」と「満足」でほぼ4分の3を占めます。本学は「とても満足」の割合が少ないです(16%)(図5-1)。

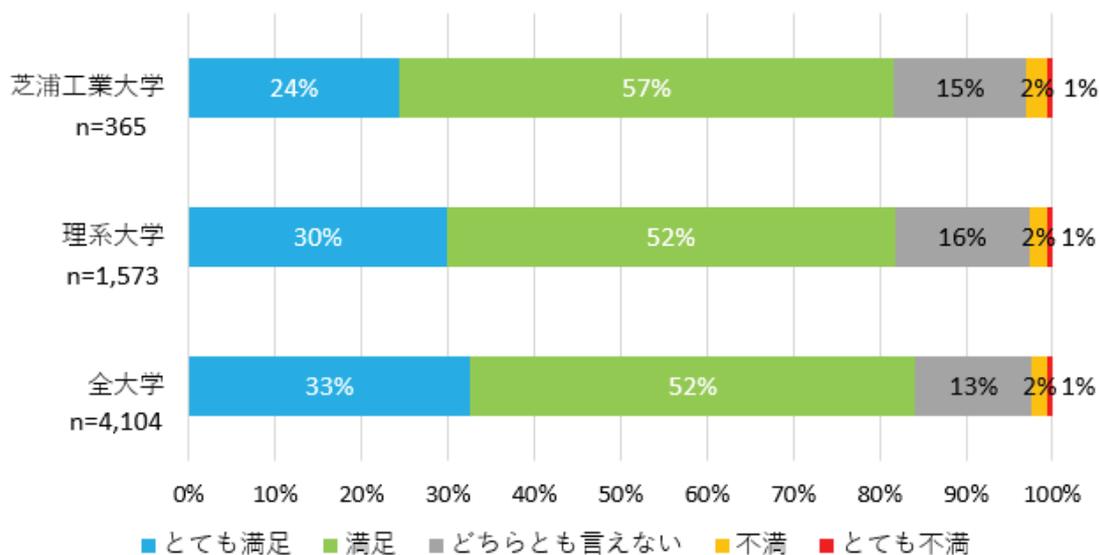
図5-1 教育・研究への満足度(Q6)



(2) 大学時代の生活全般への満足度

生活全般への満足度は、本学、理系大学、全大学とも「とても満足」と「満足」で8割以上を占めます。本学は「とても満足」の割合が少ないです(24%)(図5-2)。

図5-2 生活全般への満足度(Q7)



6. 大学とのつながり

本学は「つながりがある」卒業生に回答をいただきました(図 6-1)。調査では 12 項目の「つながり」をたずねています(図 6-2～図 6-13)。

主な「つながり」は同窓との付き合いでです(44%) (図 6-10)。次に、ゼミや研究室の集まり(23%) (図 6-4)、クラブ・サークルの集まり(14%) (図 6-5)、恩師との付き合い(17%) (図 6-11) です。ホームページや SNS は 13%が閲覧しています (図 6-6)。

また、同窓会やホームカミングデー等の諸行事(6%) (図 6-2) や企業内、職域等での同窓の集まり(5%) (図 6-3)、仕事上のつながり(7%) (図 6-12) は数%程度です。

大学に寄付をしたことがある(2%) (図 6-7)、親戚に大学関係者がいる(0.3%) (図 6-8)、公開講座や図書館などを利用している(1%) (図 6-9) は、少ないです。

図 6-1 つながりはない(Q8-13)

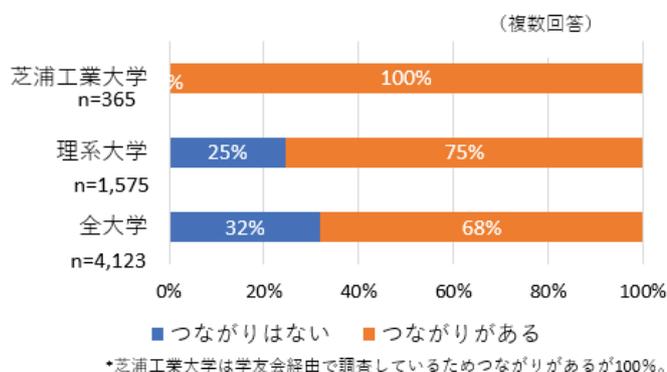


図 6-4 ゼミや研究室の

集まりに参加(Q8-3)

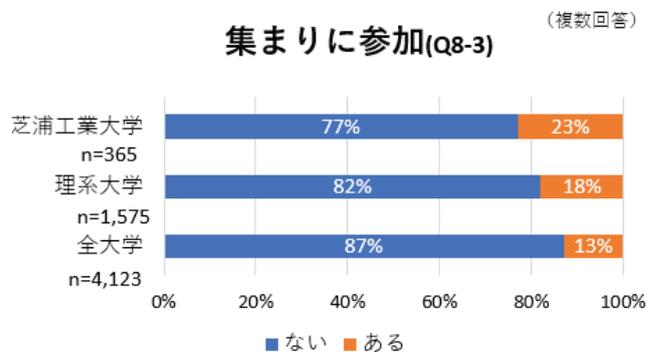


図 6-2 同窓会・ホームカミングデー

や大学開催の諸行事への参加(Q8-1)

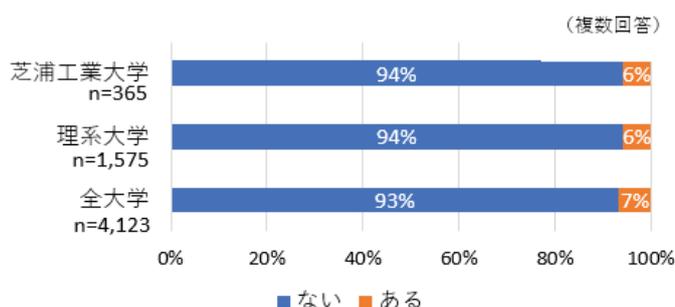


図 6-5 クラブ・サークルの

集まりに参加(Q8-4)

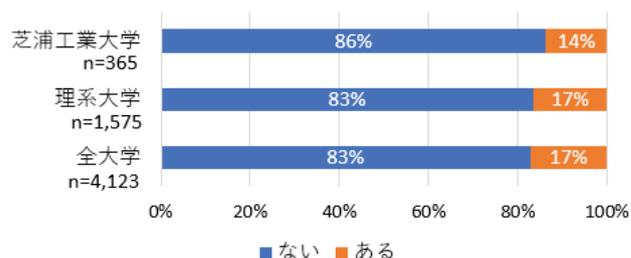


図 6-3 企業内、職域などの

同窓の集まりに参加(Q8-2)

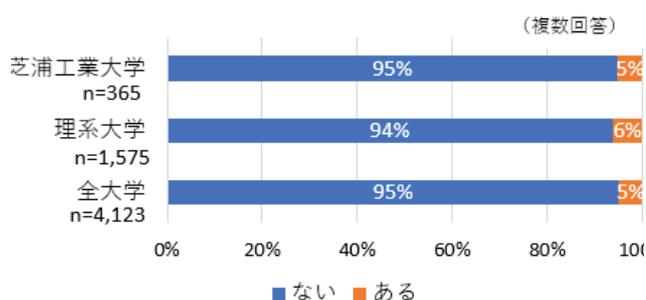


図 6-6 ホームページやSNSの

閲覧をしている(Q8-5)

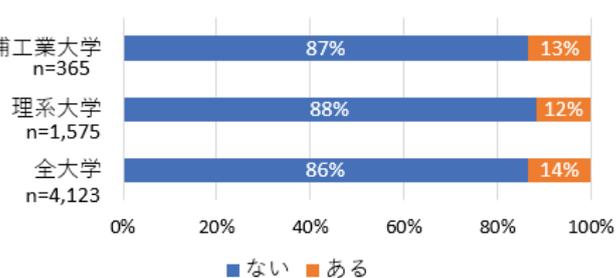


図 6-7 大学に寄付をした
ことがある(Q8-6) (複数回答)

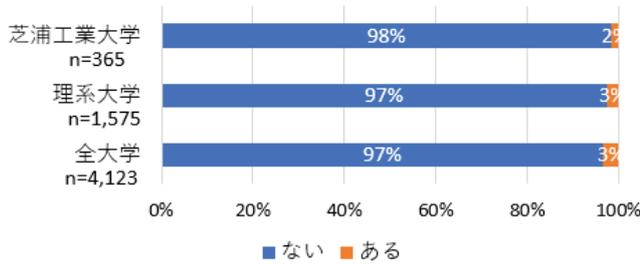


図 6-11 恩師との付き合いを
保っている(Q8_10) (複数回答)

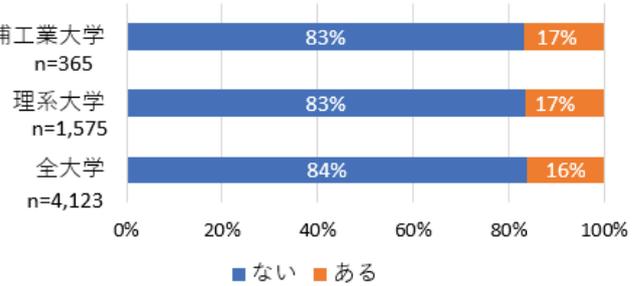


図 6-8 親戚に大学関係者
(学生・教職員) がいる(Q8_7) (複数回答)

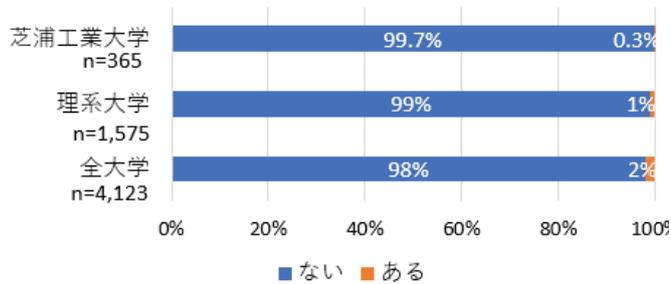


図 6-12 仕事上のつながりがある
(Q8_11) (複数回答)

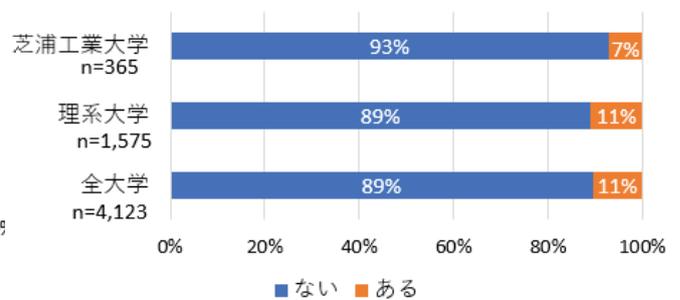


図 6-9 公開講座や図書館などを
利用している(Q8_8) (複数回答)

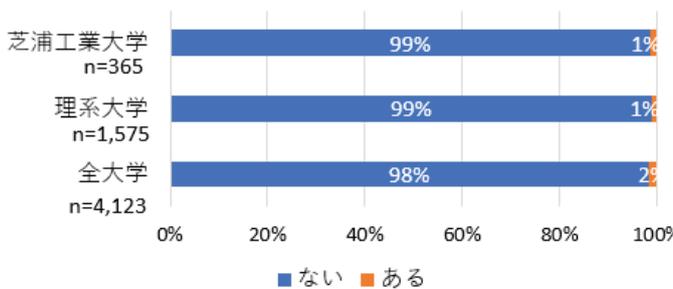


図 6-13 その他(Q8_12) (複数回答)

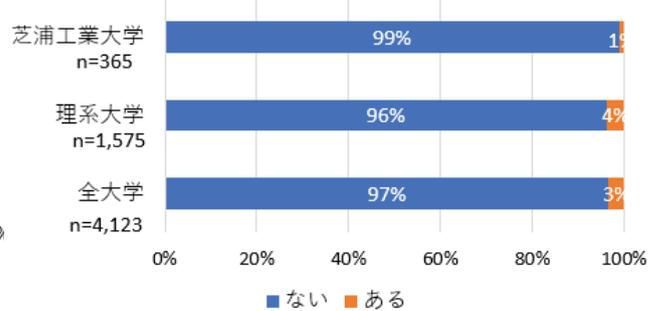
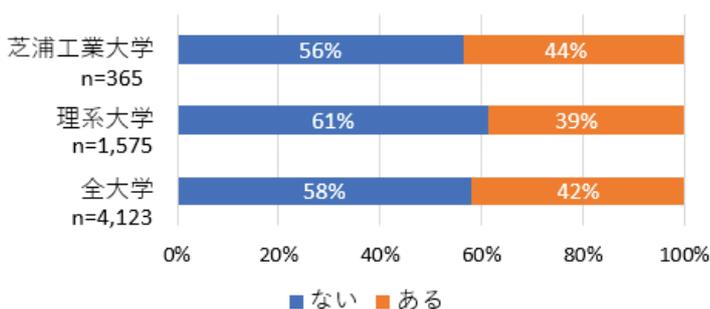


図 6-10 同窓との付き合いを
保っている(Q8_9) (複数回答)

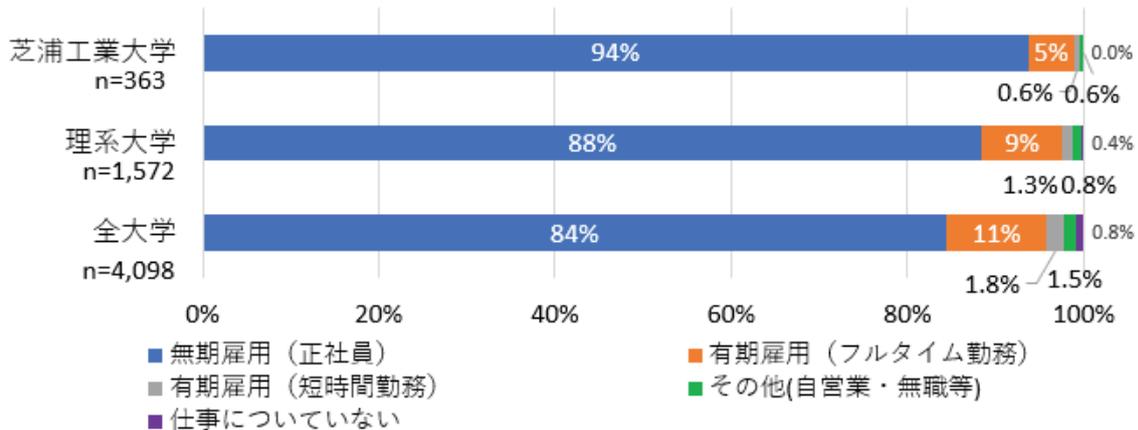


7. 初職

(1) 初職の就業形態

卒業生は94%が無期雇用(正社員)で就職しています。全大学より10ポイント、理系大学より6ポイント多いです(図7-1)。

図7-1 初職の就業形態(Q9_1)



(2) 初職の業種

卒業生の初職の主な業種は「製造業」38%、「建設業」21%、「情報通信業」16%です。製造業は、全大学より23ポイント、理系大学より11ポイント多いです。建設業は、全大学より15ポイント、理系大学より8ポイント多いです。そして、情報通信産業は、全大学より7ポイント、理系大学より1ポイント多いです(次ページ、図7-2)。

(3) 初職の志望

初職の志望は、「第1志望」37%、「ほぼ志望どおり」40%です。全大学、理系大学よりも多く、本学は卒業生の77%が志望どおりに就職しています(図7-3)。

図7-3 初職の志望(Q9_3)

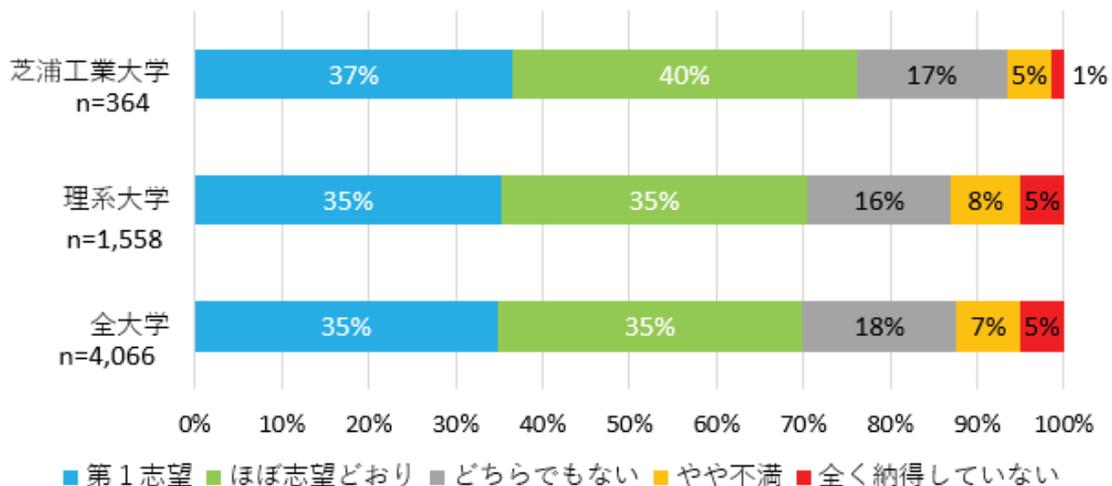
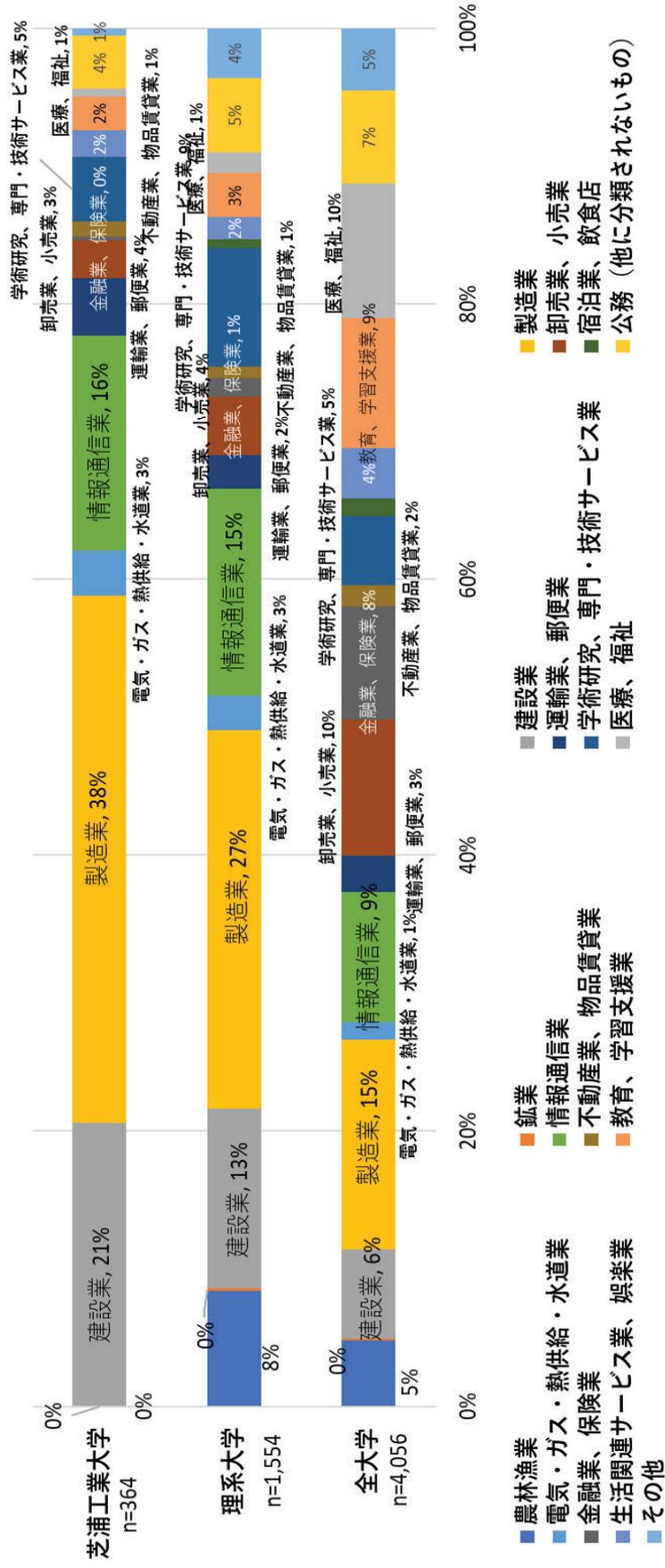


図 7-2 初職の就職先の業種 (Q9-2)



(4) 初職の選択理由

初職の選択で重視する項目は、本学は「C. 職種」(79.2)、「D. 業種」(74.4)が多いです。また、全大学や理系大学より、「E. 収入」(59.5)、「A. 知名度」(54.3)が多いです(表7-4, 図7-4)。

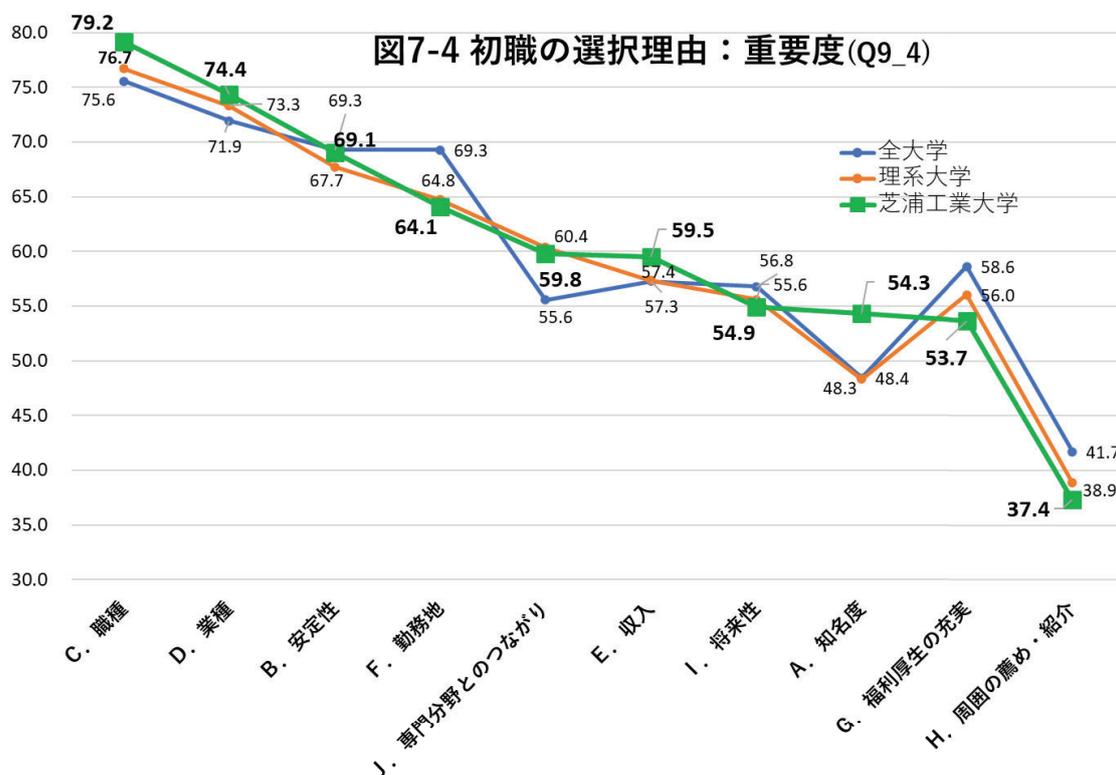
表7-4 初職の選択理由：重要度(Q9_4)

質問番号	項目名	全大学	理系大学	芝浦工業大学
Q9_4C	C. 職種	75.6	76.7	79.2
Q9_4D	D. 業種	71.9	73.3	74.4
Q9_4B	B. 安定性	69.3	67.7	69.1
Q9_4F	F. 勤務地	69.3	64.8	64.1
Q9_4J	J. 専門分野とのつながり	55.6	60.4	59.8
Q9_4E	E. 収入	57.3	57.4	59.5
Q9_4I	I. 将来性	56.8	55.6	54.9
Q9_4A	A. 知名度	48.4	48.3	54.3
Q9_4G	G. 福利厚生 of 充実	58.6	56.0	53.7
Q9_4H	H. 周囲の薦め・紹介	41.7	38.9	37.4

*非常に重視した100点、やや重視した66.66点、

あまり重視しなかった33.33点、全く重視しなかった0点の平均点

芝浦工業大学の点数で項目を並び替え、グループ内最高点は太字。

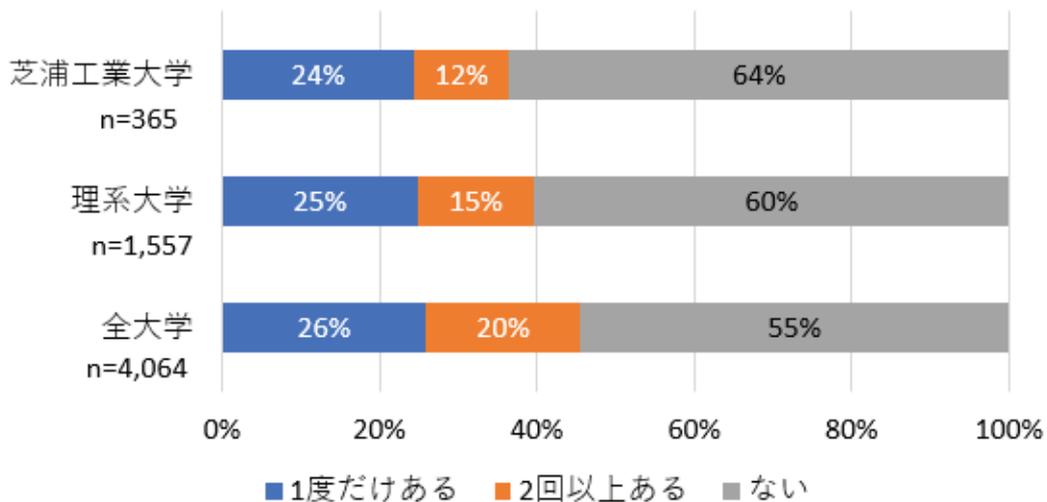


8. 転職・離職の経験

(1) 転職・離職の経験

転職や離職の経験は、本学の卒業生は「1度だけある」24%、「2回以上ある」12%です。全大学や理系大学は転職や離職の経験は若干多いです(図8-1)。

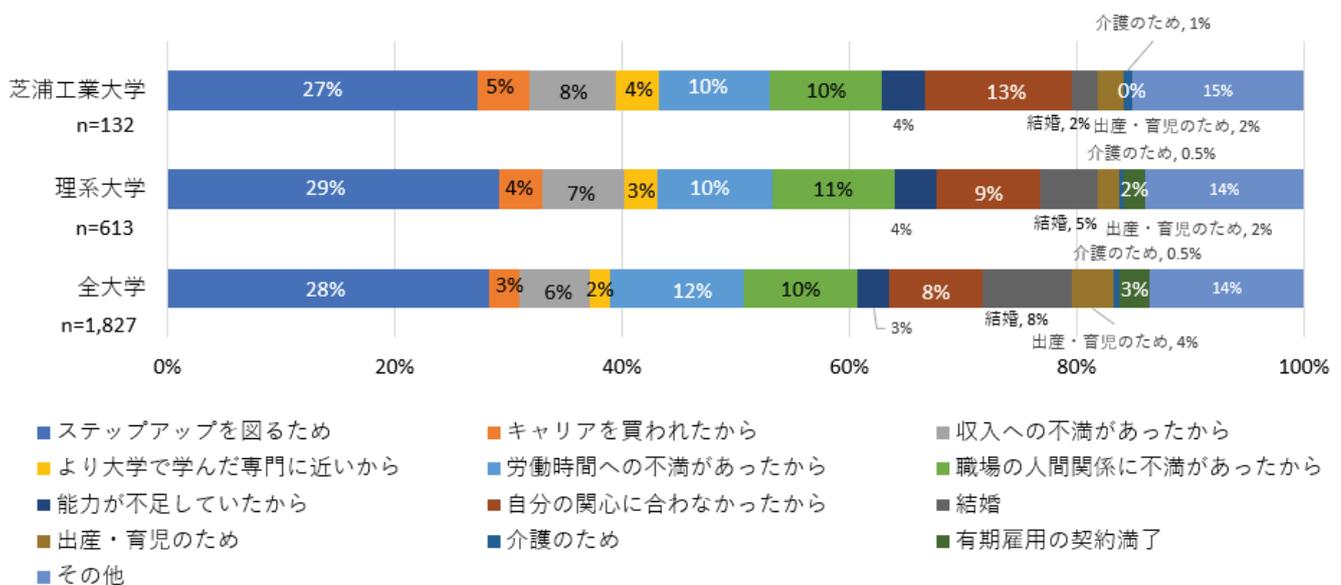
図8-1 転職・離職の経験(Q10_1)



(2) 転職・離職の理由

本学の最も多い理由は「ステップアップを図るため」27%です。次いで、「自分の関心に合わなかったから」13%、「労働時間への不満があったから」10%、「職場の人間関係に不満があったから」10%、「収入への不満があったから」8%です。全大学、理系大学も似た傾向です。本学は「自分の関心に合わなかったから」が多いです(図8-2)。

図8-2 転職・離職の理由(Q10_2)

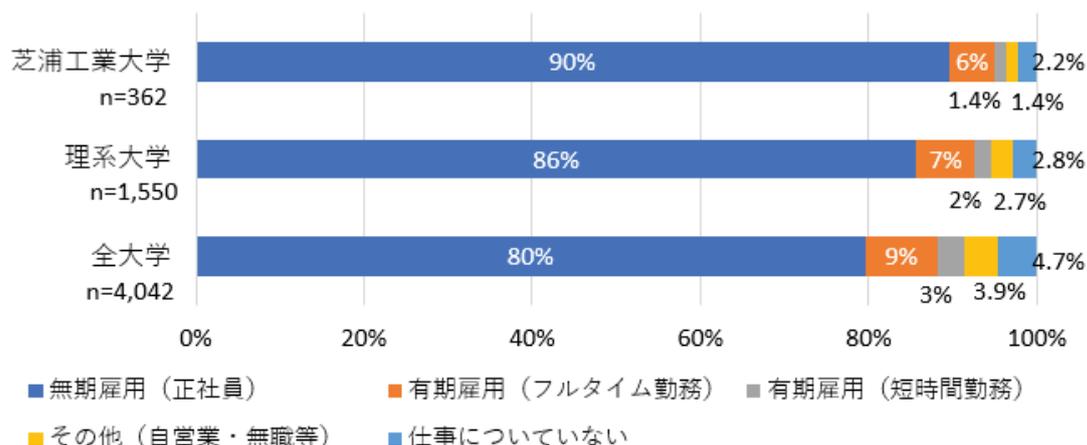


9. 現職

(1) 現職の就業形態

本学は90%が無期雇用(正社員)です。全大学より10ポイント、理系大学より4ポイント多いです(図9-1)。

図9-1 現職の就業形態(Q11_1)



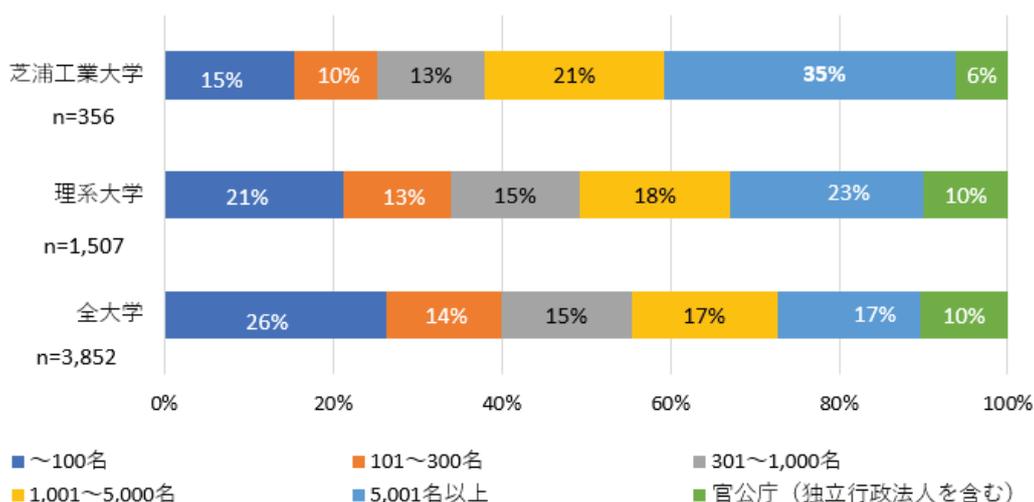
(2) 現職の業種 (転職・離職の経験者について)

卒業生の現職の主な業種は、「製造業」35%、「建設業」18%、「情報通信業」15%です。製造業は、全大学より20ポイント、理系大学より9ポイント多いです。建設業は、全大学より12ポイント、理系大学より6ポイント多いです。そして、情報通信産業は、全大学より5ポイント、理系より1ポイント多いです(次ページ、図9-2)。

(3) 従業員規模

卒業生の現在の勤務先の従業員規模は「5,001名以上」35%が多いです。全大学より18ポイント、理系大学より12ポイント多いです(図9-3)。

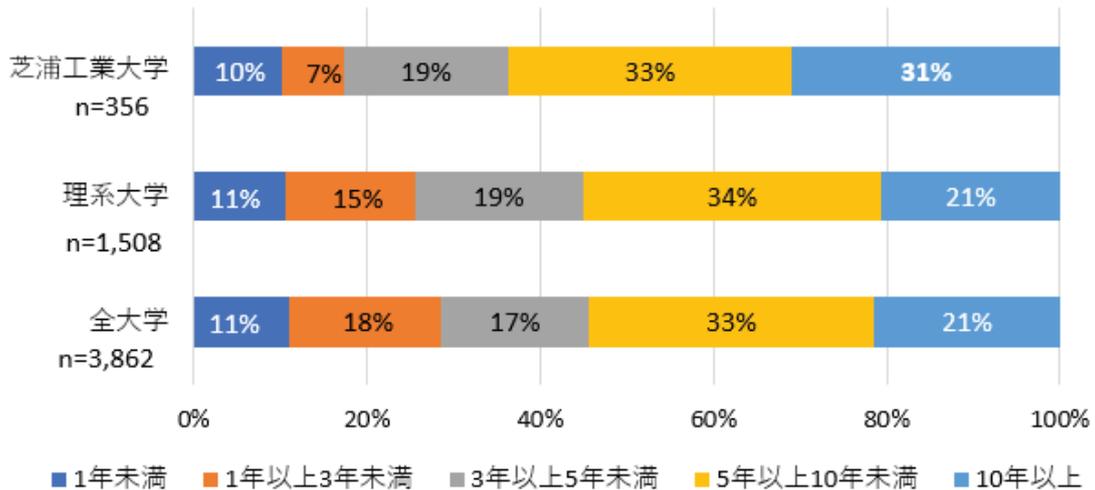
図9-3 現在の勤務先の従業員規模(Q11_3)



(4) 勤務先での在籍年数

卒業生の勤務先での在籍年数は、「5年以上10年未満」33%と「10年以上」31%が多いです。全大学や理系大学より、在籍年数「10年以上」が多いです(図9-4)。

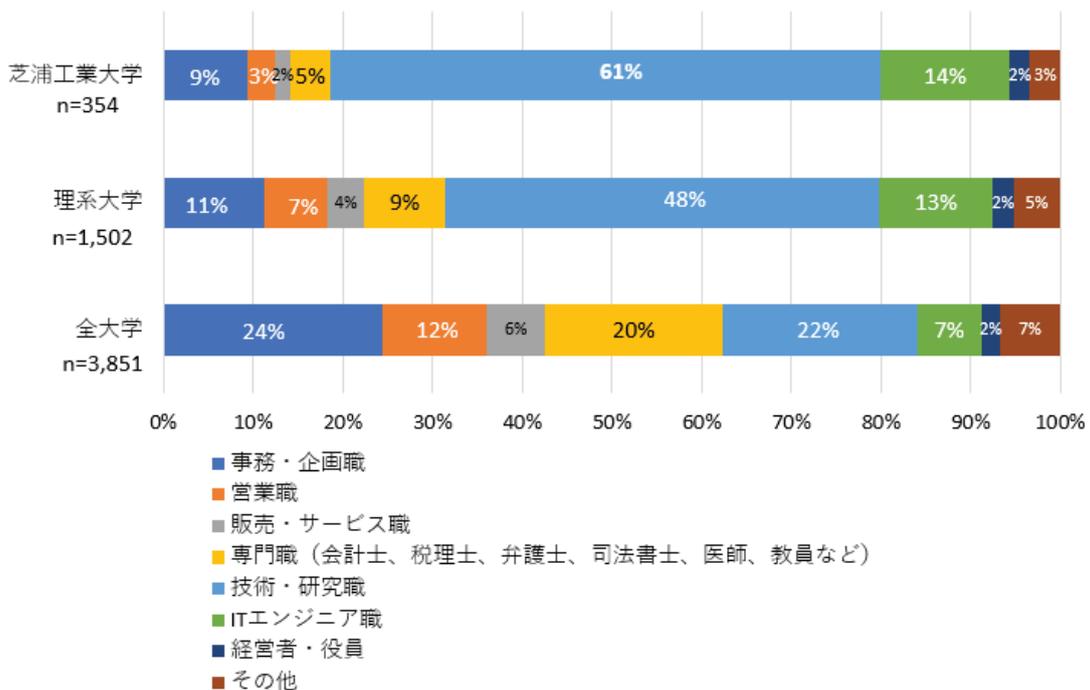
図9-4 現在の勤務先での在籍年数(Q11_4)



(5) 現在の勤務先での職種

卒業生の勤務先での主な職種は、「技術・研究職」61%、「ITエンジニア職」14%、「事務・企画職」9%です。「技術・研究職」は全大学より39ポイント、理系大学より13ポイント多いです(図9-5)。

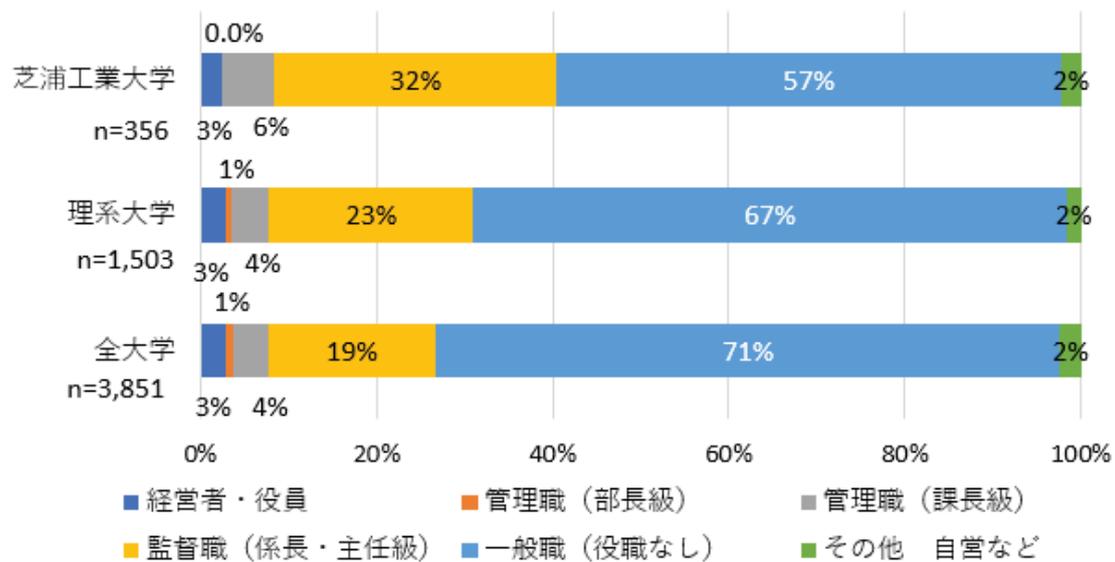
図9-5 現在の勤務先での職種(Q11_5)



(6) 現在の職階

卒業生の現在の職階は、「一般職(役職なし)」57%が最も多いです。次いで「監督職(係長・主任級)」32%です。「監督職(係長・主任級)」は全大学より12ポイント、理系大学より9ポイント多いです。(図9-6)。

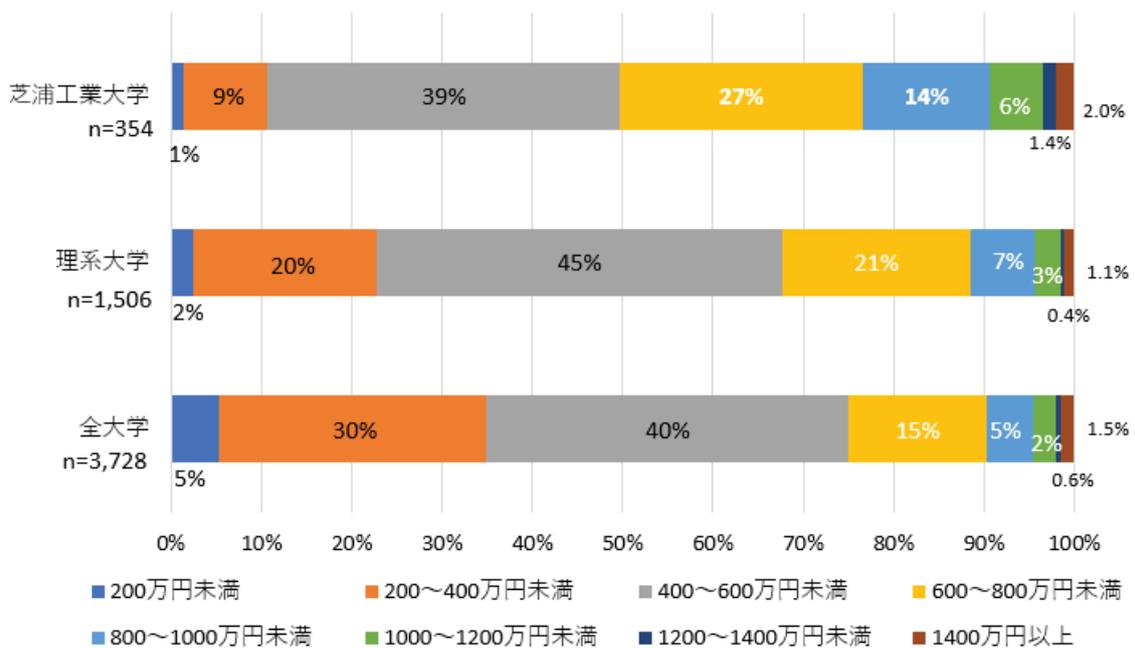
図9-6 現在の職階(Q11_6)



(7) 年収

卒業生の年収は「400～600万円」39%、「600～800万円」27%、「800～1000万円」14%です。全大学や理系大学より、本学の卒業生は高収入です(図9-7)。

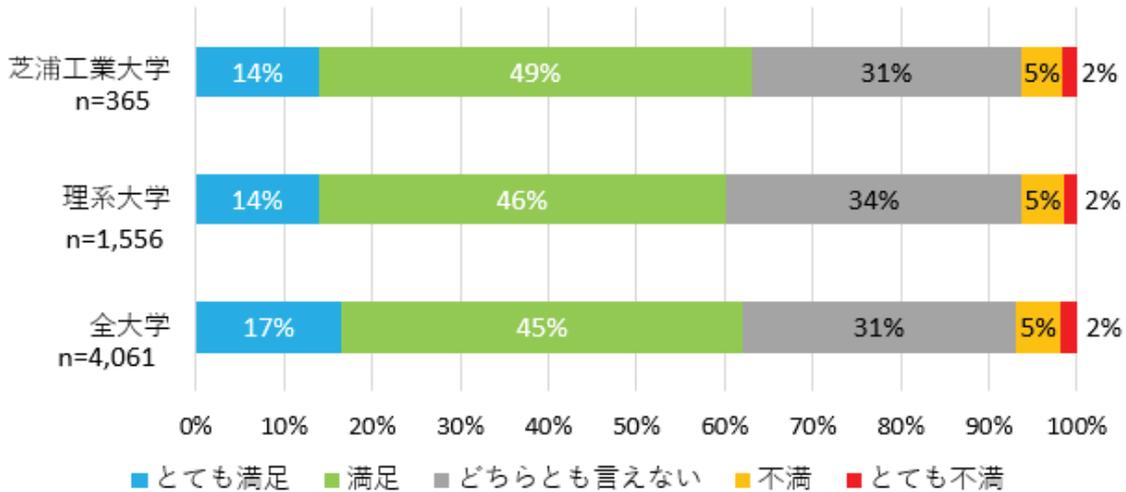
図9-7 現在の年収(Q11_7)



10. キャリアパスの満足度

本学の卒業生のキャリアパスへの満足度は、「とても満足」14%、「満足」49%です。満足度は全大学とほぼ同じ、理系大学より少し多いです(図10)。

図10 キャリアパスへの満足度(Q12)



11. 海外での勤務経験や業務における外国語の使用

卒業生は、次の2項目について外国語の使用が多いです。それは、全大学や理系大学よりも多いです。

- ・メールや文書のやりとり(32%) 全大学(16%)、理系大学(21%) (図11-4)
- ・会話や議論をする(26%) 全大学(14%)、理系大学(17%) (図11-3)

なお、海外出張は22%が経験しています。理系大学27%より少ないです(図11-2)。また、「1.海外での勤務経験がある」6%(図11-1)や「社内公用語が外国語」2%(図11-5)は少ないです。そして、「どれにもあてはまらない」は58%です(図11-6)。

図11-1 海外での勤務経験がある(Q13-1)

(複数回答)

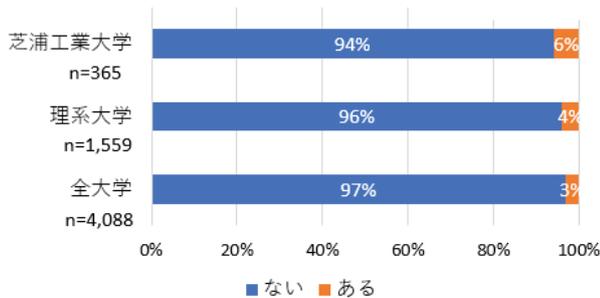


図11-2 海外出張の経験がある(Q13-2)

(複数回答)

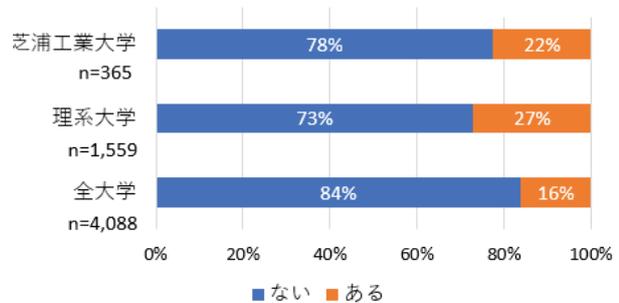


図11-3 外国語を使用し、会話や議論をする必要(Q13-3) (複数回答)

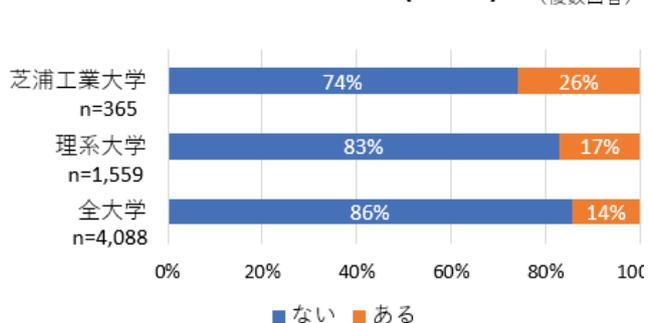


図11-5 社内公用語が外国語(Q13-5) (複数回答)

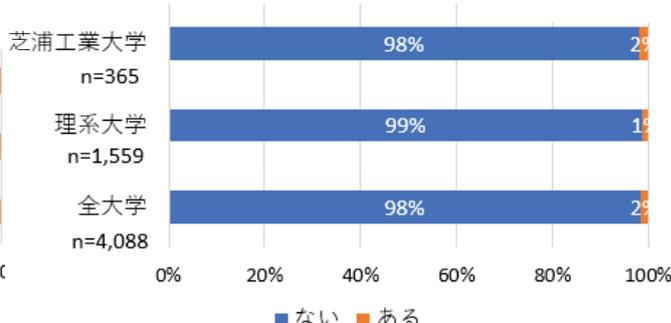


図11-4 外国語を使用し、メールや文書のやりとりをする必要(Q13-4) (複数回答)

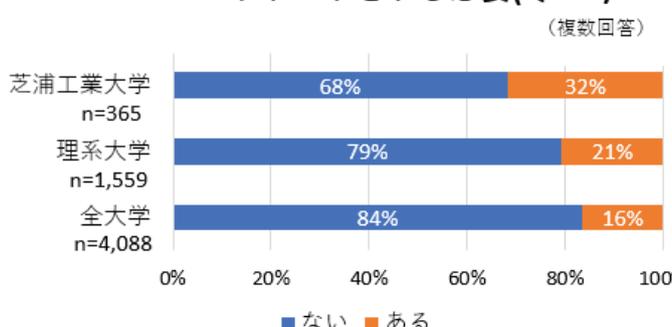
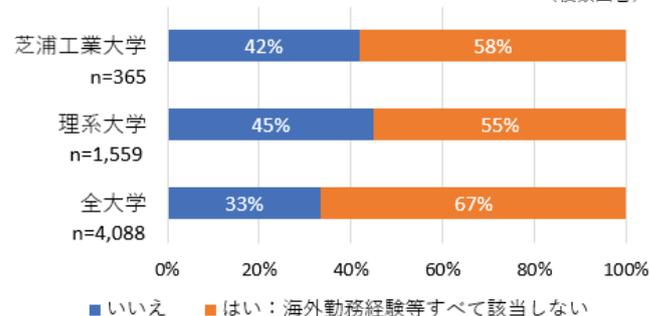


図11-6 どれもあてはまらない(Q13-6) (複数回答)



12. 大学生時代に身につける能力の重要性

大学時代に身につける能力の重要性 19項目について。

選択肢は次の5段階：

- 「重要」
- 「どちらかといえば重要」
- 「どちらともいえない」
- 「どちらかといえば重要でない」
- 「重要ではない」

項目は100点満点に換算し、本学の点数が高い順に並び替えました。

表12 大学生時代に身につける能力の重要性(Q14)

質問番号	項目名	全大学	理系大学	芝浦工業大学
Q14B	B. 分析力や問題解決能力	88.6	89.5	91.7
Q14N	N. コミュニケーションの能力	92.6	91.1	90.7
Q14G	G. 人間関係を構築する能力	91.8	90.7	90.5
Q14H	H. 他の人と協力して物事を遂行する能力	91.0	90.0	90.1
Q14R	R. 時間を効果的に利用する能力	89.4	87.7	86.8
Q14L	L. 文章表現の能力	86.4	85.2	84.9
Q14O	O. プレゼンテーションの能力	83.1	83.9	84.7
Q14Q	Q. コンピュータの操作能力	86.2	84.4	84.5
Q14A	A. 一般的な教養	84.1	81.4	80.5
Q14P	P. 数理的な能力	74.7	78.6	80.1
Q14F	F. リーダーシップの能力	78.3	77.2	78.9
Q14C	C. 専門分野や学科の知識	74.6	75.4	75.7
Q14D	D. 批判的に考える能力	72.3	72.4	72.0
Q14M	M. 外国語の運用能力	66.1	63.8	65.2
Q14I	I. 異文化の人々と協力する能力	66.2	63.9	64.1
Q14E	E. 異文化の人々に関する知識	66.6	62.8	63.9
Q14S	S. グローバルな問題の理解	65.8	62.2	62.1
Q14J	J. 地域社会が直面する問題を理解する能力	66.9	62.4	61.6
Q14K	K. 国民が直面する問題を理解する能力	67.3	63.3	60.8

*重要100点、どちらかといえば重要75点、どちらともいえない50点、どちらかといえば重要でない25点、重要でない0点の平均点

芝浦工業大学の点数で項目を並び替え、グループ内最高点は太字。

次の4項目は重要性が高い90点以上の項目です。

「B. 分析力や問題解決能力」

「N. コミュニケーションの能力」

「G. 人間関係を構築する能力」

「H. 他の人と協力して物事を遂行する能力」

汎用的技能の項目が並びます。正課や準正課で汎用的技能の学習を考慮する重要性を示唆します。

